



### 碧南市

### こども食堂 だれかのとなり

懐かしい「おじさんとおばちゃん」のぬくもり

～「だれかのとなり」に寄り添う居場所づくり～

今回は、『こども食堂 だれかのとなり』の伊藤真澄様にお話を伺いました。

『こども食堂 だれかのとなり』は、伊藤様が「だれかに助けて欲しい」と思った時、だれにも助けてもらえなかった過去の経験から、同じ思いをしている《だれか》に何かしたいと思ったことをきっかけに始めました。活動をしていく中で思いは変化していき、「こども達が笑ってられるためには、まず大人が笑うこと」という思いから、ファミリー支援としてフードパントリーも行っています。

「こども食堂 だれかのとなり」は、夫婦二人で運営されています。一度に多くのこどもが来た時には、その場にいるこども達に《準備》《お片付け》のボランティア活動（お手伝い）をしてもらい、たくさんお手伝いをしてくれた子には、だれかのとなりオリジナルの【ボランティア活動証明書】を渡しています。物をあげなくても、「ありがとね、助かったよお」と言うだけで喜んでくれて、進んでお手伝いしてくれる子も多くいます。

「ご褒美におばちゃんハグして！」と言う子もいるそうです。

今のこども達は、学校・家庭・習い事以外で大人と交流を持つ機会がなく、初めはおぼつかない挨拶も、大人が名前と顔を覚えると、甘えたり、わがままを言ってみたり、安心した姿を見せてくれます。わがままを言えば叱り、良い事をすればたくさん褒めることを心掛けており、親御さん達からは、「こども食堂に行くようになって、よく笑うようになった」や「進んでお手伝いしてくれるようになった」と好評です。

こども達と接するうちに、共働きで家に親がいない、親がいないから友達の家で遊ぶこともなく、近所に知り合いもいない環境にある【こどもの寂しさ】に気づき、【不安で寂しい】時にパッと思い浮かぶ《安心してられる場所》《頼ってもいい大人》でありたいと活動を続けられています。



同じ《こども》でも、育つ時代によって、勉強の仕方も友達との付き合い方も大人との関係も変わっています。でも、垣間見える《こどもらしさ》は昔も今も変わらないのに、無理して大人の世界での共存をしているように見える時があります。私たちは、《こどもがこどもらしく居られる時間や場所》を作りたいと思っています。情報社会で育っている現代のこども達は、スマホやタブレットが先生。近所のおじさんやおばちゃんではないんです。だから、人との繋がり方がわからない子が多いのかなと考えます。私達と触れ合ったこども達が大人になった時、懐かしく思い出してもらえる【おじさんとおばちゃん】が私達の目標です。（こども食堂 だれかのとなり 伊藤真澄）

### 活動内容



#### // こども食堂

『たべもんや こうえんのとなり』の営業時間内(火曜・水曜定休日)

高校生以下対象/利用無料

#### // フードパントリー(ファミリー支援)

月1回/基本は、必要な方はどなたでも対象

特に、シングル世帯・多子世帯・高齢者単身世帯への支援



### 【こども食堂 だれかのとなり】

#### ◆ 場所

碧南市源氏神明町137

たべもんや こうえんのとなり敷地内

#### ◆ 連絡先

0566-41-8950

(担当：伊藤真澄様)



源氏神明公園  
すぐ近くの  
たこ焼屋さん

▼Instagram  
二次元コード



子ども食堂を始めたい



## お役立ち情報

興味はあるけど、何からやれば…

子ども食堂を始めたい方へ、参考資料をご紹介します

### 子ども食堂開設ガイドブック(改訂版)

発行：愛知県福祉局児童家庭課子ども未来応援グループ

5年以上子ども食堂を運営されている方の活動紹介を始め、フードバンクの役割を担う「あいち子ども食堂応援ステーション」の紹介、開設までの流れ、県内の子ども食堂の状況が掲載されています。

ダウンロードはこちら➡ [愛知県公式webサイト](#)



### お店で子ども食堂スタートブック

発行：認定 NPO法人全国子ども食堂支援センター・おすびえ  
飲食店×子ども食堂プロジェクト

子ども食堂を始めたいと思っても、場所や設備をゼロから整えるのは大きな負担です。その点、飲食店はすでに最適な設備を備えており、飲食店が運営する子ども食堂ならではの強みもあります。飲食店で子ども食堂の運営事例や立ち上げの参考ポイントなどが掲載されています。

ダウンロードはこちら

➡認定 NPO法人全国子ども食堂支援センター・おすびえ公式webサイト



食を通して、  
健康に生きる力を育てる



## 6月は食育月間



毎月19日は  
食育の日

毎年6月は『食育月間』です！平成17年（2005年）6月に食育基本法が制定されたことにちなんで定められました。また、食育の「育（いく）=19」から、毎月19日は『食育の日』とされています。愛知県では、食育の日に合わせ、この日を『おうちでごはんの日』とし、早めに帰宅して、家族や友人と一緒に食卓を囲むよう勧めています。

### できることから始めましょう😊

- ・家族みんなで楽しく食事をする
- ・正しい箸の使い方や食事マナーを身につける
- ・食事の準備、片付けを手伝う
- ・感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする
- ・地域の郷土料理を食べる



### =食育ネットあいちのご紹介=

愛知県における食育への取組やイベント情報など食育に役立つ様々な情報を掲載しているポータルサイトです。例えば…**あいちの郷土料理レシピ50選** 次世代に伝えたい郷土料理を選びすぐったレシピ集です。この機会に、郷土料理を知って、作って、食べて、あいちの食文化に触れてみませんか。

『食育ネットあいち』  
はこちら↓



味噌田楽



かきまわし  
(とりめし)▶



子どもの居場所  
応援プラザ  
問合せ先

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内

TEL:052-212-5504

FAX: 052-212-5505 Eメール: info@aichivc.jp

HP: http://aichivc.jp/

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50 愛知県社会福祉会館 2階

情報提供待ってます♪

